

「セブン」の戦慄再び!!

全米で『セブン』を超える記録的大ヒット!! (オープニング3日間 1,430万ドル)
『セブン』のデビッド・フィンチャー監督が2年ぶりに放つ、新たなる驚愕と戦慄の世界。





ラストシーンの『セブン』を超える衝撃に あなたは耐えられるか!?

97年9月12日、全米約2400館で一斉公開され、オープニング3日間で約1,430万ドルの興行成績を収め、あの『セブン』の持つオープニング記録(1,390万ドル)を超える大ヒット・スタートを切った、『セブン』のデビッド・フィンチャー監督による待望のサスペンス・スリラーがついに日本に上陸。想像を絶する衝撃と恐怖の渦が今再び日本中に襲いかかる。

サンフランシスコの大富豪ニコラス・ヴァン・オートンは成功した実業家であったが、周りの者を誰一人寄せ付けず、大邸宅で孤独な生活を送っていた。彼の48歳の誕生日、その48歳という年齢は父が目の前で投身自殺した歳でもあった。その日の朝、ニコラスはある不審な人物から昼食のアポイントメントを求められる。彼の前に現れたのは、長年顔を合わせる事のなかった弟のコンラッドだった。欲しいものは全て手に入れてしまったニコラスに、コンラッドが贈ったプレゼントはCRS社の1枚のカード。「必ずここに連絡してくれ。人生が一変するような凄い体験ができるはずだ」。

半信半疑のニコラスだったが、彼はCRS社が提供する商品の〈ゲーム〉に参加する事となる。CRS社のオペレーターはニコラスにこう告げる。「この〈ゲーム〉にこれまで満足頂けなかったお客様は1人もおりません。」

その日、自宅に戻ったニコラスは玄関前の路上に倒れている人影を発見する。自分が幼い頃、投身自殺した父の姿が脳裏をよぎる。しかし、それはピエロの人形だった。ニコラスはその人形を居間に持ち帰る。そしてピエロの口の中にCRSのマークの入った鍵を発見するのであった。果たして〈ゲーム〉は始まっているのであろうか?その〈ゲーム〉とは果たして何なのか?

『危険な情事』『氷の微笑』のマイケル・ダグラスと 『デッドマン・ウォーキング』のショーン・ペン

謎の会社組織CRS。この会社が提供する〈ゲーム〉とは一体何なのか!? これは単なる〈ゲーム〉なのか現実なのか?被害妄想なのか、洗脳による幻覚なのか、あるいはライバルによる陰謀なのか?ニコラスの前に次々と発生する奇怪な出来事の連続。張り巡らされた罠。現れては消えていく謎めいた人間たち。 *ゲーム、と *現実、の境界線の欠如が生み出す得体の知れない恐怖に、観客の深層心理はえぐられ、背筋が凍り付く感覚に襲われるに違いない。かつてないスリリングな世界、そして最後には誰にも想像できない衝撃のクライマックスが待ち受けている!

今までに見た事もないこの素晴らしいサスペンス・スリラーを創り上げたのは、前作『セブン』で全世界にセンセーションを巻き起こした監督デビッド・フィンチャー。脚本は『ザ・インターネット』のジョン・ブランケートとマイケル・フェリス。音楽は前作『セブン』から引き続き、その世界観を余す事なく表現するハワード・ショア。

主演ニコラス役に「ウォール街」でアカデミー主演男優賞を受賞、以降話題作「危険な情事」「氷の微笑」に出演したマイケル・ダグラス。共演は「デッドマン・ウォーキング」のショーン・ペン。「クラッシュ」のデボラ・カーラ・アンガー。

最高の演出と演技がぶつかり合う中、 今世紀最上級のサスペンス・スリラーが再び 誕生した。



WHAT DO YOU



衝擊

のラス

۴

1

ンは絶対に明かしてはなら

な

13

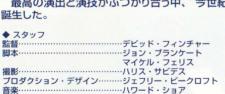
GET FOR



THE MAN WHO



HAS EVERYTHING...



◆ キャスト
ニコラス・ヴァン・オートン……マイケル・ダグラス
コンラッド・ヴァン・オートン…ショーン・ベン
クリスティーン…………………ジェームス・レブホーン
ゾム・ファインゴールド…………ジェームス・レブホーン
イルザ…………………………・キャロル・ベイカー



1997年/アメリカ映画/スコープサイズ/カラー/ドルビーデジタル/上映時間:2時間8分 /ベライズ:徳間書店刊/サントラCD:ポリグラム/協賛:萩島商事株式会社/**ギャガヒユーマックス共同配給**

'98正月(第2弾)衝撃のロードショー!

特別ご鑑賞券発売中ノ〈最¥1600/分子3000〉

有楽町·東宝映画街

日比谷映画

前に書きた

03(5489)4210

TOHO Theatre Link http://toho-group.co.jp/